

日六十月十



定額一圓五角... 發行所 常磐每日新聞社

伊藤公三

ビスマルク

官僚政治と政黨政治 堀切 善兵衛

(四)

ウヰリアム老帝が、ビスマルクのように偉い人間を見出して之れを宰相の重位においたことは、カイザーの爲めにも獨逸の爲めにも仕合せであつたが、斯かるめぐり合せは二度と有り得べき事でない。故にビスマルクは自分が一度退いた後を何うするかといふ点を考へねばならぬ筈である。即ち制度の上において一國の大人材が自然に現はれて来て、自分の後を襲ふようにして置かなかつたのが彼れ一代の大失策といはなければならぬ。

ノート

明治七年 發行 蕪紫 色の二十 錢切手は現在世界中に三十數枚しか無いが其の値段一枚一千五百圓もする

アム 世は自分の意のままに所謂お氣に入りを大宰相にする事が出来た、それで

第二のビスマルクのような人材は現はれやう筈がない

カイザーのお氣に入りか、然らずむば、お氣に入りの其のまたお氣に入りが宰相となるようになった。其御氣に入りには有名なライレンベルヒ公爵があつた。此の人は帝國宰相を製造する人だといはれたが、最後は非常に不名誉な罪を犯して社

明日の日献立

- 【朝】味噌汁 馬鈴薯 小付 松茸時雨 煮
【晝】フライ秋刀魚
【晚】鍋 鶏肉 ねぎ 焼豆腐 割せう

會から葬られた等は何たる皮肉である乎。歐洲大戰當時の宰相ベトマン・フオルウイックはカイザーの中學時代の友達で頗るお氣に入りで、初め内相に任せられ次で宰相となり、輔弼の道を誤つて遂々獨逸帝國を覆へしたのである。畢竟戦ふ可らざる戦を戦はしたのが彼の大責任であつた。



五日月 成田 君江 むかしむかし 大むかし

涙にぬれて きらくと輝き乍ら 五日月

お空の旅を つづけてた 恐い雲奴に 團まれて 泣いてもだいた五日月 ぽろり落したなみたこそ 空にちりにし 星なるぞ お恵み深い 神さまが お造りなされたお月さま 千年萬年 昔より 一人でお旅よ 空の上 下界が見えて空の上 退屈なさらぬ お月さま

ノートの

彼の人に見せしノート 我が作りし詩のノート 今は火にくべられて消ゆ 彼の人の姿も我が前より 遠ざかり、今はたゞ我れひとり 我れまだ彼の人を戀うて 忘れず 忘れんとしてうたふ星空の下 はさのつゆ白々と光る 友。 何故か悲しい宵でした 乙女は一人庭に出て いくとせか俱に學びし 友を偲んでゐました 遠くはるかかな人を 遠くはるかかな空を仰いで したしき友達もあの星の やうに 散りつくしたと

季節松茸・鳥料理

よせなべ 魚 榮 平田町 電話四二四番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠 副院長 新潟醫學士 赤羽 清 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄 平田町 電話五一三番

御扱い開始

旭屋一六銀行 通三丁目 電話四二五

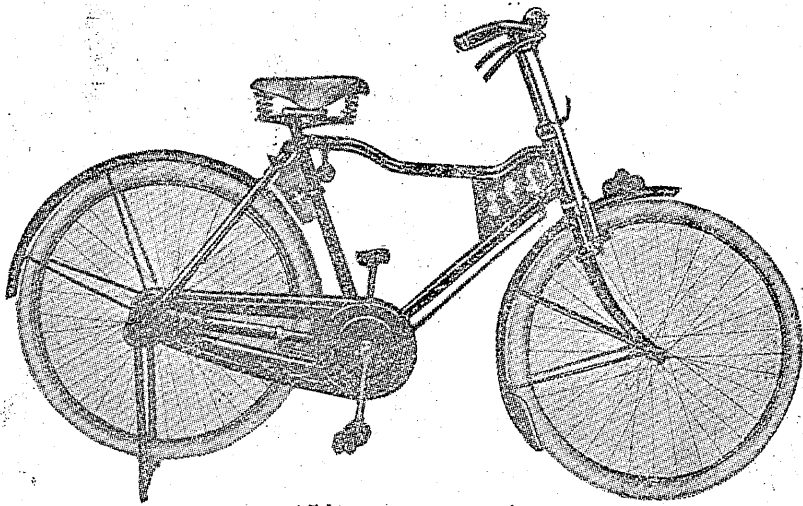


玉屋洋品店 平田町通電話六五六番

店員募集 年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

景品付 月賦販賣

販賣方法 八ヶ月分割拂但し四回御拂込にれば現品御渡し致します(日掛歓迎) 締切 賣切れと同時に(各車一百臺) 景品抽籤 最終掛金領收後直に常磐毎日新聞社々員立會の上舉行す 景品 一等より五等迄空籤なし 上等三重總桐タンス 上等茶箆筒 座蒲團五枚一組 南部鐵瓶 三越製御盆 等々



〔號 ツ ー マ〕

自轉車 號發賣記念 特許マーツ號

- 國產高級車 三 菱 號 金五拾貳圓也
經濟高級車 菊 菱 號 金五拾圓也
難難防運搬 特許マーツ號 金五拾圓也
車代用頑固車 アーテンシー號 金四拾五圓也
高級實用車

發賣元東京合名社 鹽野製作所 代理取扱店 平町 エピスヤ 自轉車店 電六六四番

# 漁獲戦線異状あり

## 黒潮異變に秋刀漁が遁去

### 漁業關係筋に大きな暗影

過般激浪に押流された漁船を救助した縣水産指導船磐城丸は同日三萬五千尾のさんまを水揚げするや休養の暇もなく直ちに漁場目掛けて出動、さんま群の

動向調査を行つた結果沖合は引續いてこの時化模様は空しく不漁を續け殆んどさんま群の遊泳を見ないといふ悲感的状況にあるが今十六日朝磐城丸より小名濱町縣水産試験場に達した無電によると

寒流の變化によりさんま群は大体本縣沖合近く南下したものと見られ今年がこの寒流變化のために全然漁獲不能に陥りよ

# 社告

愛讀者各位の絶大なる御支持の裡に本紙は來月一日を以つて紙齡十二年を數へんとする爲め當地方運動界に寄與する報恩的記念事業として磐陽野球聯盟及び平町軟式野球協會後援の下に菊香

明治節の佳日體育デーとして、磐女校庭に中等學校教員野球大會を開催し優勝旗爭奪のリーグ戦を展開する(詳細は追つて發表)乞ふ期して待たれよ

昭和九年十月

### 常磐毎日新聞社

町村長評議會 石城町村長支會評議員會は十九日午前十時から平町會議事堂で開き總會提出議案に就て協議を遂げる

### 割のよい

#### 匡救日當

農家總動員

石城郡小川江坂組合では平窪村上平窪字君ヶ澤地内の

### 大減收の繭市場

昨日で晩秋蠶取引終る

既報昨十五日が取引最終である四倉繭市場は總數七十貫六百十匁、最高三十圓、最低廿圓十錢、馴廿七圓八十錢で開市以來の累計は一万四千六十貫七百三十匁代金三万七千七百二十四圓十錢で總取引の平均額は最高三十三圓、最低十圓五十錢、馴廿六圓八十錢となり是を前年に比較すると貫數は前年より一万五千三百貫七百匁の減で代金は實に七万四千八百九十七圓六十錢と云ふ大減收を見せ平均相場に於いても昨年は最高四十六圓八十錢、最低廿圓、馴卅八圓三十錢と段違ひであつたと尙本年の繭價不振

### 中作築港 復舊作業

けふから着手

第一期水路改修竣工を工費三萬五千圓を以て去る一日から着手したが同時に下小川村丸山地内の第二期工事も工費六千五百八十圓で着手現在八十餘名の夫が出役してゐるこれら入夫の日給は七十五錢から八十錢程度で一般匡救事業に比して高額なので同地方民は收穫時他所に連日總動員で出役して居るといふ

### 体操研究出發

平第一篠山校長始め平塚、吉成玉手、横田、仲村、佐藤、橋本、松本、大和田の各職員は今十六日久之濱小學校に於て開かれた体操研究會出席の爲め出張した

### 農事視察 自動車出發

自動車の出發

中堅農民講習生八十四名は郡農會柴田技手、内田書記に引率され今十六日午前八時自動車に分乘茨城縣國分農園水戸農事試験場の視察に出發したが歸途にはらき新聞社の新聞製作状況を見學今夕歸平の筈

### 町税賦課 滞納督促

平町吏員が

平町に於ける九年度前期町税賦課額は人員一萬二千九百八十九圓十四錢であつたがこの内期間内に納入したものは二萬五千二百三十三圓九十三錢、期間外納入一萬六千二百二十二圓十錢で現在二萬八千四百四十三圓一錢、人員五千五百五人の滞納があるの係員は大童べて納入方督勵中である

### 組合せ決定

磐女運動會に 明日の呼び物

既報磐女に於ては明日陸上運動會が開催されるので本日より小雨降る中を會場設備及び豫行演習等を行つたが大會の呼び物小學校女生徒白米及び四百米競走の組合せは左の如く決定した

### 農村不況對策を

町村長總會に附議

石城町村長支會總會は十九日午後一時から平町役場會議室で開き農村不況對策その他を協議する

### 清田檢事叙勳

平才

判所檢事清田一郎氏は此程勳四等に叙せられ瑞寶章を授けらる

### 先鞭つけた 檜舞臺

自漫の江の島料理水たきや松茸料理で宿泊の都人士や地方の食通連を喜ばせてゐる住吉屋本店では宴會場に新設された檜舞臺が先鞭をつけたに人氣を博してゐる設計は青天目源一郎氏

### 玉壽司が 新築移轉

三丁目玉壽司の新築店舗は見違へる許りに立派になつたが殊に二階客間の如きは御會食、御家族同伴等江戸前式に設備され感じがよい

### 中折帽子 ツルヤ洋品店

四丁目ツルヤ洋品店は目下秋と冬の中折帽子を賣出しつゝ、冬用のスマートな型を豊富に取揃へて客の眼を引いて居る、値段は二圓より六圓迄種々

### 物業用の揚物

一丁

目藤寅は今年も例年通りさつま揚、吉原揚を賣出したがお物業用土産用としての好適品なので評判がよい

### 盜難保險 月賦自轉車に

南町エビスヤ自轉車店は特許マツツ號發賣記念として三菱號、菊華號、マツツ號の景品付月賦販賣を行つてゐるがマツツ號は盜難豫防装置と盜難保險付だけに安心して乗り廻せる由

# 十八娘を種に

## 鉢合せの悪玉二つ

### 横山署長に喰つて掛る

飯野村大字小泉農登茂吉三女とみい(一七)は數年前より家出し平町南町六二大工瀬谷虎雄(三三)と同棲してゐたが虎雄は悪辣にも昨年十一月頃情婦とみいを妹と偽り名古屋

現在の 苦痛から救つてやると言葉巧みに誘ひ出し十四日同家を逃走高飛びして昨日平町に來り山本はとみいの情夫瀬谷に世話金として百圓を出せ、要求に應せねば他に賣飛ばすと膝詰めで脅迫してゐるのをとみいの親が見て驚き

### 市内の

某魔窟に前借百二十圓で賣飛ばしその後二回に亘つて隠し合つての前借詐欺を企てたが果さずその都度とみいの借金が殖え現在では三百圓になつたが同人がこの苦界に喘いでゐるのを知つた名古屋市中區東郊通一丁目周旋業前科七犯山本拾吉(三三)が

### 平署に

許へ出たので目下同署では營利誘拐罪として山本を留置取調べてゐるが同人は取調への係員は勿論横山署長にも威丈高かに喰つてかゝる暴れ者なので流石の同署でも持て餘し氣味である

### 検事局書記宅を

#### 襲つた盜賊捕る

#### 餘罪數十件の強か者

去る七日平町八幡小路平検事局書記高木信氏宅の留守中に忍び入り衣類數点を窃取し逃走した犯人は平署で躍起となつて捜査中であつたが今十六日午前七時頃泉村驛前料理屋大室屋に立廻つた擧動不審の男を小名濱駐在所員布施巡査が発見取調べたところ此男は當時住所不定宮城縣賀美郡花朝村生れ前科三犯笠原秀吉(三三)で引續き取調べ中

### 重いトラックで

#### 交通危険に瀕す

#### 三阪村地内の小野新町線

#### 近く業者に警告

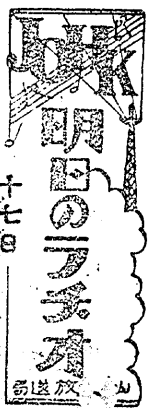
三阪村地内縣道平、小野新町線に在る橋梁暗渠十數ヶ所が破損著しく交通上危険に瀕してゐること此程發見した平土木監督所では大いに驚き應急處置を講ずるとともに原因を調査中であつたが右は同地方運輸のトラックが制限以上を積載甚し

### 風壓計を新設し

#### 列車事故を防止

#### 平機關庫と鮫川鐵橋に

水戸運輸事務所では關西地方の暴風害による列車顛覆事故に鑑み風害対策を考究中であつたが管内に風速計及び氣壓計を設置する事に決定したが本郡では風壓の最も強い平機關庫及び植田驛西方鮫川鐵橋の二ヶ所に常設すると



明日のラジオ  
今夜も明日も北西の風、今夜は小雨模様、明日は天気よし

今晩の部  
後八〇〇 子供の時間  
名作物語「黄金丸」(三)  
東京放送児童語研究会  
後六二五 英語講座(三)  
後七三〇 岡田哲蔵  
サンデー國王の崩御と國際政局の動向「法學博士 芦田均」

明日の部  
後八〇〇 ラヂオ風景  
「奥の細道」に聴くHK放送部  
後八三〇 管絃樂 日本放送交響樂團  
後九〇〇 常磐津「釣女」  
常磐津三東勢太夫  
後九三〇 時報 ニュー氣象通報 番組豫告

前九三〇 子供の時間  
ラヂオ見學「青函連絡貨車航送」函館港岸、附近より中繼  
前一一〇〇 記念講演  
「神嘗祭の御儀と國民生活」文學博士山本信哉  
前一二〇〇 講演「艦隊大阪灣入港に際して」海軍大佐酒井茂吉  
前一二三〇 講演「滿洲の資源と日滿貿易」經濟學博士永雄策郎  
後〇五〇 神傳八雲琴 一色輝琴  
後一〇〇 舞臺劇 市川壽美藏

後一五〇 野球試合實況  
六大學リーグ戦(神宮球場より中繼)  
後六〇〇 子供の時間  
名作物語「黄金丸」(四)東京放送児童語研究会  
後六二五 講演「古代東北の農作と食物」藤原相之助  
後七三〇 人形浄瑠璃「碁盤太平記」大阪浪花座より中繼  
後八三〇 謠曲「安宅」觀世鐵之丞外  
後九〇〇 獨唱と管絃樂 獨唱關種子 日本放送交響樂團

後一五〇 野球試合實況  
六大學リーグ戦(神宮球場より中繼)  
後六〇〇 子供の時間  
名作物語「黄金丸」(四)東京放送児童語研究会  
後六二五 講演「古代東北の農作と食物」藤原相之助  
後七三〇 人形浄瑠璃「碁盤太平記」大阪浪花座より中繼  
後八三〇 謠曲「安宅」觀世鐵之丞外  
後九〇〇 獨唱と管絃樂 獨唱關種子 日本放送交響樂團

### 高齢者は

#### 五十八名

#### 明日招かる

#### 青年團の驛傳競走

#### 平町の経路をい駄天走り

既報明十七日午前十時より平町青年團本部主催各分團對抗優勝競争驛傳競走は来る十一月三日の明治節を卜して決行されるが當日午後一時半警察署前に勢揃へしてスタートを切つて西走松ヶ岡公園前より紺屋町、才樋小路、役場前、白銀町、大工町、立町、鎌田、五色町、新川端、月見橋、新川町、本町、三丁目横のコースにより再び平署のゴールに入る豫定であるが出場選手は各分團五名宛

平町青年團本部主催各分團對抗優勝競争驛傳競走は来る十一月三日の明治節を卜して決行されるが當日午後一時半警察署前に勢揃へしてスタートを切つて西走松ヶ岡公園前より紺屋町、才樋小路、役場前、白銀町、大工町、立町、鎌田、五色町、新川端、月見橋、新川町、本町、三丁目横のコースにより再び平署のゴールに入る豫定であるが出場選手は各分團五名宛

平町青年團本部主催各分團對抗優勝競争驛傳競走は来る十一月三日の明治節を卜して決行されるが當日午後一時半警察署前に勢揃へしてスタートを切つて西走松ヶ岡公園前より紺屋町、才樋小路、役場前、白銀町、大工町、立町、鎌田、五色町、新川端、月見橋、新川町、本町、三丁目横のコースにより再び平署のゴールに入る豫定であるが出場選手は各分團五名宛

### 曾我夫妻

#### 送別會開催

#### 縣下演習に

#### 警中出發

#### 松茸窃取

警中五年生百九十餘名は既報の如く若松二十九聯隊兵營見學を兼ね安積の野に展開される縣下中等學校聯合野外演習参加の爲め今十六日武裝満々しく午前十時ラ

赤井村大字高萩福島炭礦雜夫和田(三三)は去る十四日同礦汽鑛場から銀側懐中時計價格二十圓を窃取した外時計専門に三件の窃盜を働き十四日平署員に檢擧さる

赤井村大字中居住福田政一(三三)は去る十日同村松茸培養組合から松茸五百匁價格二圓を窃取十五日平署に檢擧

赤井村大字中居住福田政一(三三)は去る十日同村松茸培養組合から松茸五百匁價格二圓を窃取十五日平署に檢擧

# 浮城の比翼

## 浮城の比翼

田邊南龍(作)  
山本英春(書)

一六〇

心から悔悟して

「驚き入つた旗本共の不埒さうと早く知つたら、貴郎方のお手を煩はさず萬分の一の御恩報じに拙者が水野を討取つたものを、今となつては致し方もなく残念至極でございます」

「イヤ其お言葉で充分だ時に小紫には今度避ひなすつたか」

「お恥かしうござるが、實は昨夜三浦屋へ忍び込み別れを別けて参りました」

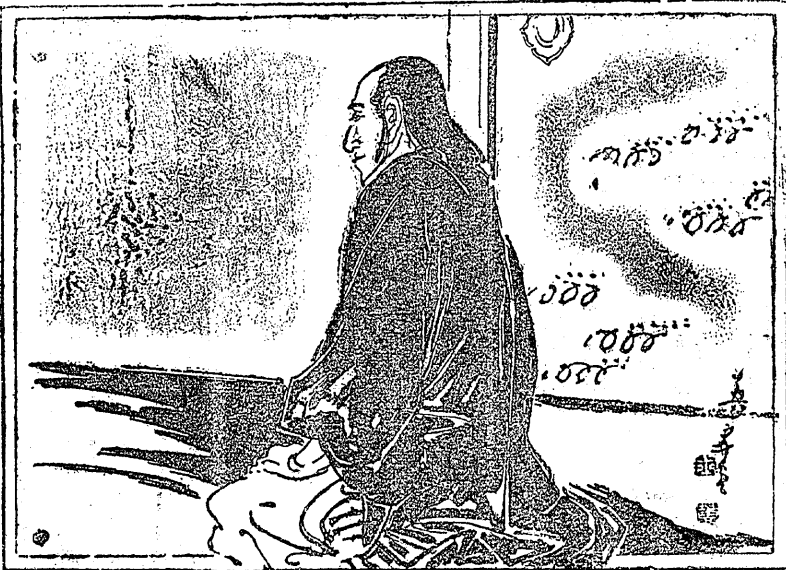
「夫は宜かつたが、いつに變らぬ大膽至極、其大膽と腕前を宜い方に使つたなら今頃は定めし出世をしてゐなすつたらうに、それを思へば長兵衛も残念に思ひます」

「イヤモウ赤面の至りでござます」

「之から用事も別にならうからせめて別れの盃飲み明かす事にしやう」

「折角でござるが、實は先年目黒の普化僧寺に厄介になつて居りました時既に悪事が露顯いたせしを任職の瑞川師の情により危き場を逃れました、その節生前に今一度必ずお目に掛る事約束いたしました事もござります故、之より目黒へ罷り越し

先年の禮を述べ其上訴へ出る考へにござります」  
「さうですか、さういふ譯なら引止めません、ぢやア途中氣を付けてお出でなさい」  
「有難う存じます」



長兵衛に別れを告げて平井權八、道を急いで来る目黒の禁全院、幸ひな事に途中で役人の目にも掛らず無事に風呂寺へ到着いたしました、深夜の事でござりますが、塀を乗り越へて豫案内知つたる院主瑞川の居

間の戸を叩いた、武家上りの瑞川早くも目を覺まし雨戸の内より  
「何者だ、深夜我が雨戸を叩くは」  
權八其の聲を聞いて懐しげに  
「恩師、暫らくでござりました、某平井權八明日天命を知つて自訴いたすに先立ち、先年の約束果さん爲參上いたしました、何卒戸をお開けを願ひます」  
「オウ平井氏か、よく參られた」

ろしきを悟り、自訴いたして御處刑を受けるの覺悟を致しました、依つて先年のお約束を守り御禮の爲推察いたしました、就きましては之に持參いたしましたる金子三百五十兩は元より人の寶を掠め取りたる不淨の金子には違ひござらんが國士の寶に變りはござりませぬ、何卒之をば御本尊へ奉納の儀お許しを願ひ度う存じます、抑も我等少年の過ちより多くの入を殺し又金を奪ひ、罪を犯せし事數知れず候へども、一念彌陀佛即滅無量と聞くからは何卒拙者御處刑の後には御回向に依つて後生善所のお救ひの程平に頼み奉る」  
と涙と共に申しました、瑞川も涙を拭ひ  
「不思議の縁にて貴方と一度師弟の縁を結び今日再び我が前に來つて懺悔されるからは某とても仇には思はん」

### 市原醫院

平町 田町  
電話一四四番

### 有給外務員數名募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名  
一、固定給の外旅費支給す  
御希望の方は履歷書持參來談を乞ふ  
(明治十四年創立 保險の開祖)

### 明治生命保險株式會社

平 事務所  
所長 小野 康  
平・仲

## かつを

## 塩から



店理代平命生本日大最優最  
榮 盛 賀 志  
(三一電)目丁四平

書道用半紙  
厚口……一帖八錢  
薄口……一帖五錢

畫仙紙

白唐紙

二双紙

色紙。短冊。畫帖。

各種取揃へてござります

マルトモ

柴田書店

電話一二三四番

御障子紙

一本(四枚張)金廿五錢  
是非御用命をお待ち申して居ります

電話 79 番

## 貸切

……の御用は!!!

是非 迅速—親切—御客様本位の……

平三丁目警察署通り

## 平タクシーへ

▲長距離は特に御相談に應じます。

### 難

### 内科一般

### 難波睦

醫學博士  
平町大町新川端  
電話五〇二

### 醫

### 院

### 喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町九六

### 喜多流 謠曲 仕舞 白土會

◇詳細は本會へ御問合せ下さる  
電一二七番